

## 人事評価の人材育成への活用に関する研究会（第3回）【議事要旨】

1 日 時 平成30年3月1日（木）13:00～15:00

2 場 所 総務省 地下2階 第2会議室

3 出席委員（五十音順）

荒田 すみ子 鳥取県総務部行財政改革局職員人材開発センター所長

稲継 裕昭 早稲田大学政治経済学術院教授

上浦 善信 大阪府池田市人材育成推進参与

笹野 健 総務省自治行政局公務員部給与能率推進室長

（座長）辻 琢也 一橋大学副学長・大学院法学研究科教授

藤田 由紀子 学習院大学法学部教授

前浦 穂高 （独）労働政策研究・研修機構働き方と雇用環境部門副主任研究員

4 議事次第

（1）開会

（2）報告書（案）について

（3）意見交換

（4）閉会

5 概要

・報告書（案）について

○現状として、小規模団体において、複雑な人事評価制度を導入しているところがある。平成26年度の「地方公共団体における人事評価制度に関する研究会」報告書では、人事評価制度の導入・活用にあたっての実施規定や評価記録書等の参考例、評価結果の活用についての考え方等についてとりまとめているので、もっと活用してもらえよう、今回の報告書の中に記載した方がよい。

○未活用の団体にメッセージをどう伝えていくか工夫していく必要がある。報告書の概要に端的にわかりやすく記載することが重要。

○人事評価を導入したことに伴う効果をもう少し客観的に示すことができれば、活用に消極的な団体にも、ポジティブに考えてもらえるのではないかと。何か効果検証できるものを今後検討していく必要がある。